

Planex

VR500-AKI

P  
○

W  
○

1  
○

2  
○

3  
○

4  
○

Planex

VR500-AKI

# 本体操作ガイド



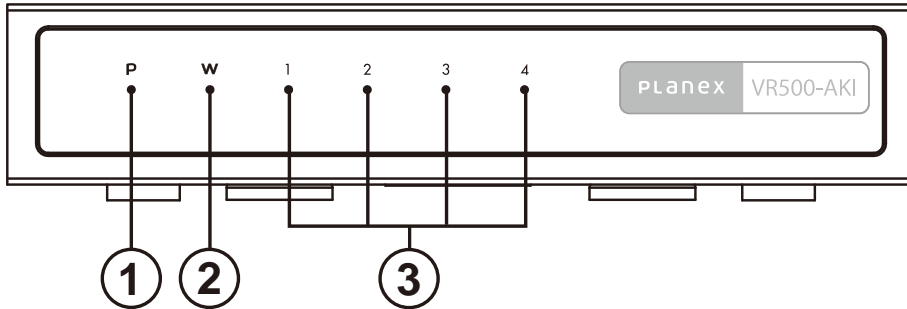
## ユーザーズマニュアル

# 目次

<b>1</b>	<b>設置</b>	
	1-1 本体のはたらき .....	p1
	1-2 接続方法 .....	p2
<b>2</b>	<b>ログイン</b> .....	p3
<b>3</b>	<b>KInesisビデオストリーム</b> .....	p6
<b>4</b>	<b>WAN</b> .....	p8
<b>5</b>	<b>システム管理</b> .....	p9
<b>6</b>	<b>ファームウェア更新</b> .....	p10
<b>7</b>	<b>設定管理</b> .....	p11
<b>8</b>	<b>ステータス</b> .....	p13
<b>9</b>	<b>仕様</b> .....	p15
<b>10</b>	<b>参考情報</b> .....	p16
	クレジット .....	p28

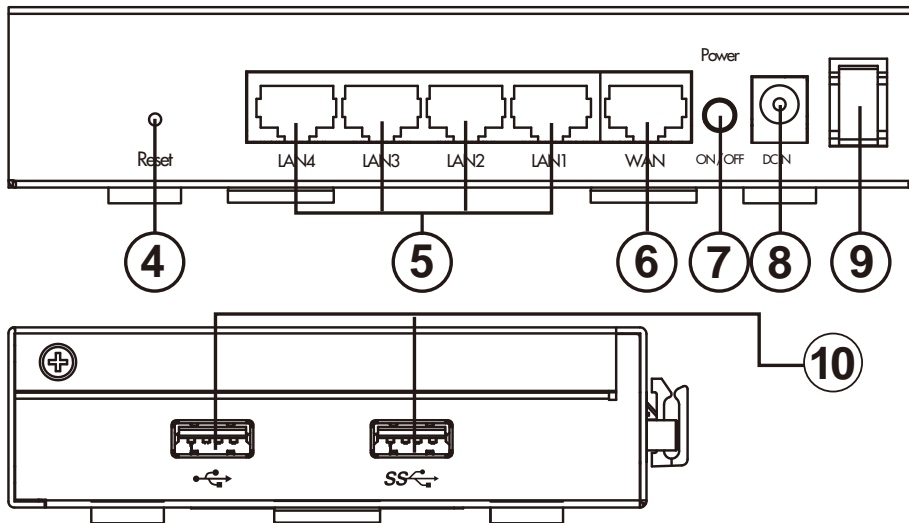
# 1. 設置

## 1-1 本体のはたらき



フロントパネルLED名称及び説明

	LED状態	説明
① PowerLED	緑点灯	電源 ON 時
	消灯	電源 OFF 時
② WAN LED	緑点滅	リンク確立時
	消灯	リンク未確立時
③ LAN LED	緑点灯	リンク確立時
	緑点滅	データ送受信時
	消灯	リンク未確立時



### ④Reset ボタン

本製品の電源を入れた状態で押すことで、再起動あるいは設定の初期化を行うことができます。

### ⑤LAN ポート (黄色)

パソコンなど各種ネットワーク機器を LAN ケーブルで接続します。

### ⑥WAN ポート (青色)

モデムなどプロバイダから提供された通信機器を LAN ケーブルで接続します。

### ⑦Power スイッチ

本製品の電源を入れる場合に押し込みます。電源を切る場合は再度押します。

### ⑧DC IN 端子

付属の AC アダプタを接続します。

### ⑨電源ケーブルフック

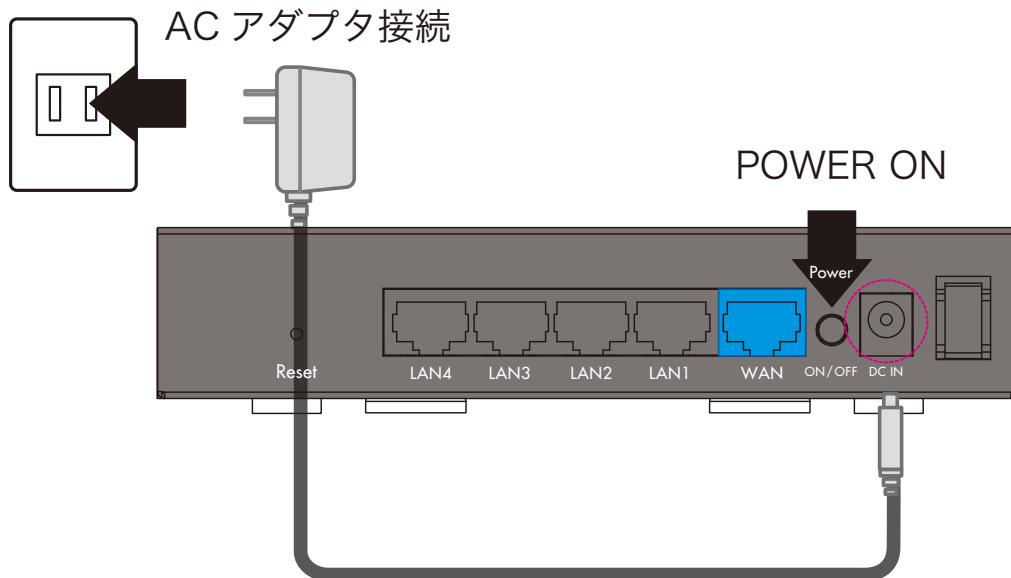
AC アダプタのケーブルをひっかけることで意図せぬ電源ケーブルの抜けを防止します。

### ⑩USB 端子

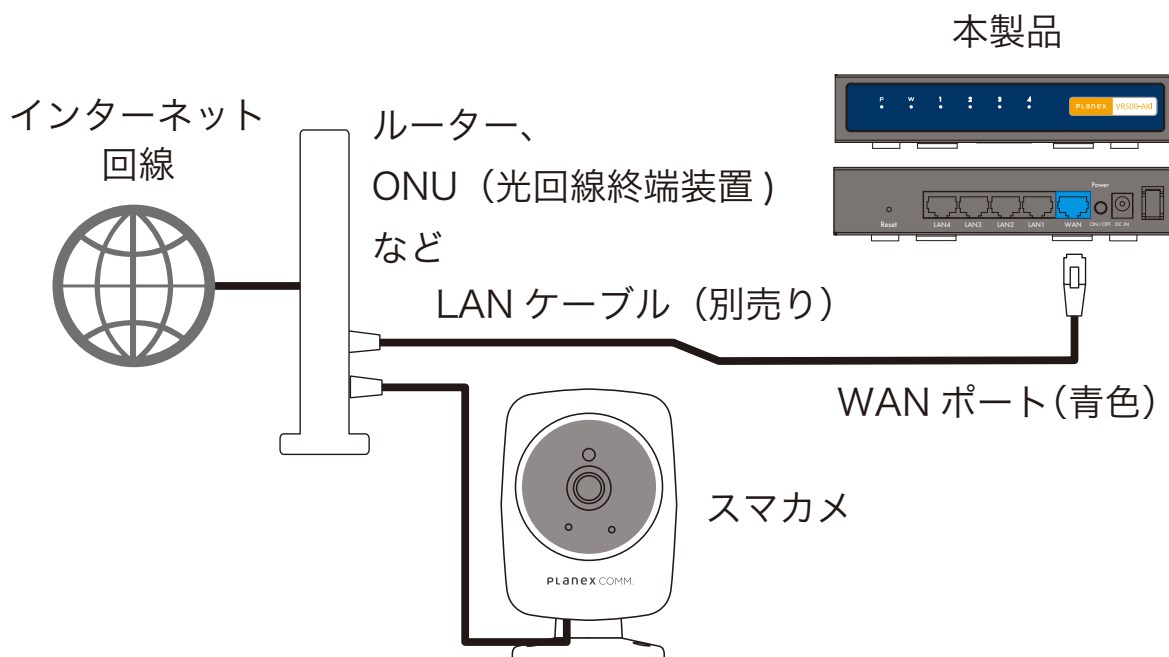
※本製品では使用できません。

## 1-2 接続方法

1. 付属のACアダプタをコンセントに差し込みDCジャックを本体に接続します。
2. Powerスイッチを押し込み、電源を入れます。

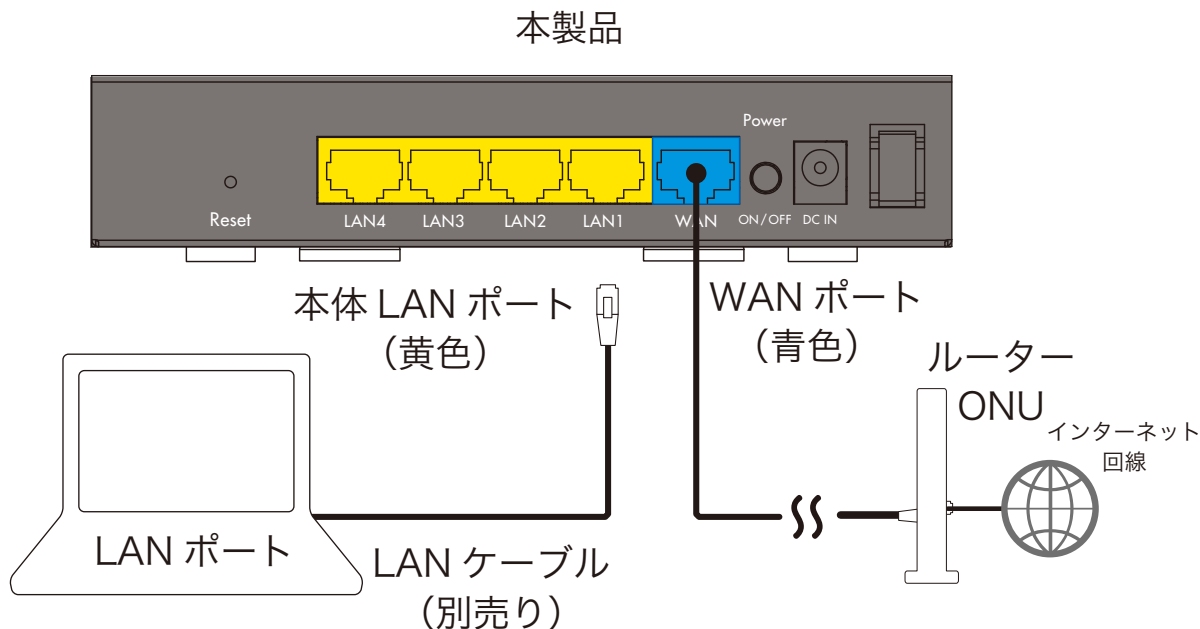


3. 次に本体のWANポートとスマカメが接続された上位ネットワークを接続します。
4. 設置は以上です。



## 2. ログイン

1. 本製品の設定を変更する場合は設定用の有線LANに対応したPCとWEBブラウザ(以下、ブラウザ)が必要です。



2. PCを本製品のLANポートと接続します。
3. ブラウザを起動します。
4. ブラウザのURL入力部分に `http://192.168.111.1` と入力しアクセスします。
5. 認証画面が表示されID/パスワードの問い合わせが表示されます。



本製品の初期値は以下の通りです。

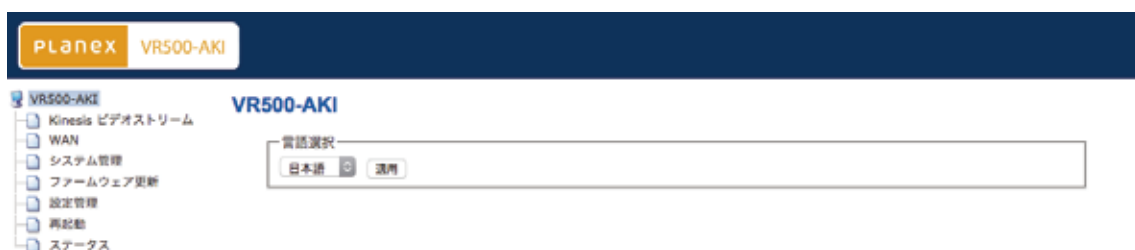
入力後[OK]ボタン(※ブラウザによって異なります)をクリックします。

ID : admin

パスワード : password



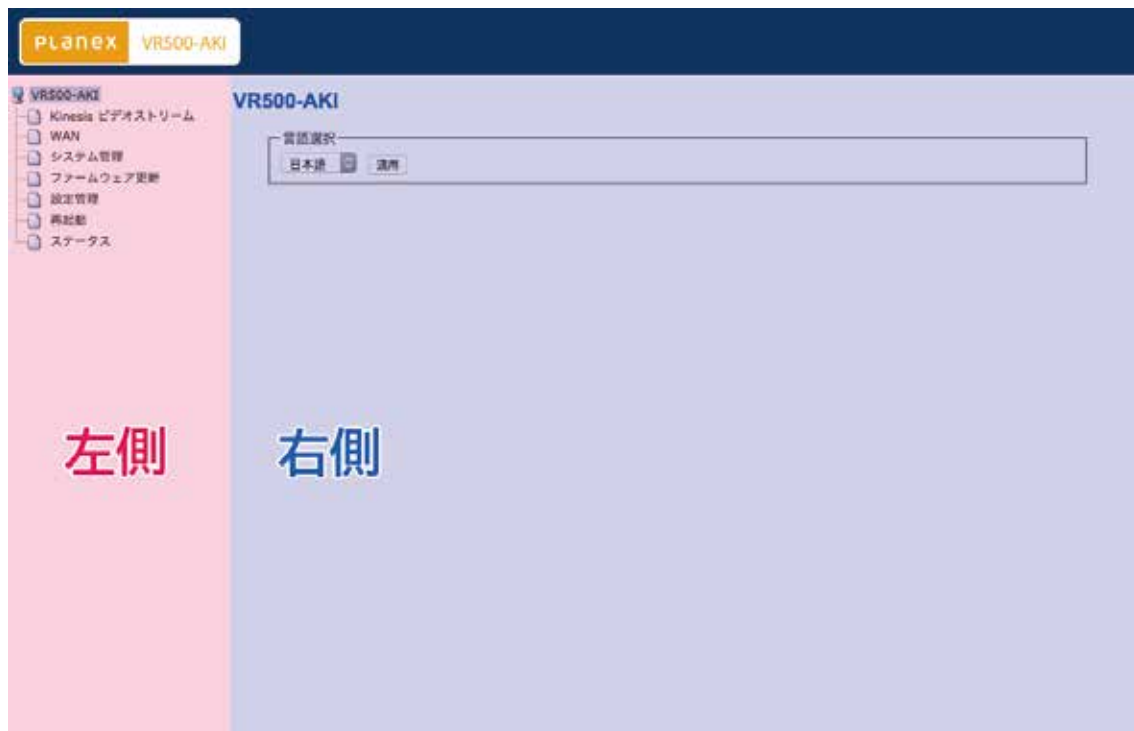
6.設定画面が表示されます。



画面上には左側に各設定項目のメニューが表示されています。

各設定項目について設定を行う際はメニューをクリックしてください。

右側に対応する設定ページが表示されます。



またトップページでは右側に言語切り替え(日本語/英語)が表示されております。言語を切り替える際はこのページにて切り替えを行ってください。

このページを再度表示するにはメニュー最上部VR500-AKIまたは製品ロゴ(上部橙色のアイコン)をクリックしてください。

本製品へのログインは以上です。

## 3. Kinesisビデオストリーム

KinesisビデオストリームではAmazon Kinesisアカウントの設定およびAmazon Kinesisに映像を転送するスマカメの設定ができます。

The screenshot shows the 'Kinesis ビデオストリーム' configuration page. It includes a sidebar with navigation options like 'Kinesis ビデオストリーム', 'WAN', 'システム管理', etc. The main content area has two sections: 'Kinesis ビデオストリーム設定' and 'スマカメ設定'. The 'Kinesis ビデオストリーム設定' section has fields for 'Kinesis ビデオストリーム' (set to '無効'), 'アクセスキー ID', 'シークレットキー', and 'リージョン'. The 'スマカメ設定' section has fields for 'スマカメ UID', 'スマカメ パスワード', and 'ストリーム名'. Below these are buttons for '適用' and 'リセット'. At the bottom, there is a table titled '設定済みスマカメ' with columns for 'No.', 'スマカメ UID', 'ストリーム名', and '削除'.

Kinesisビデオストリーム設定	説明
Kinesisビデオストリーム	Amazon Kinesis Video Streamへスマカメの画像を転送する場合は有効を選択してください (初期値:無効、有効/無効より選択)
アクセスキーID	Amazon Kinesis Video StreamにアクセスできるIAMロールのアクセスキーIDを入力してください
シークレットキー	Amazon Kinesis Video StreamにアクセスできるIAMロールのアクセスキーIDに対応したシークレットキーを入力してください
リージョン	Amazon Kinesis Video Streamを行うリージョンを選択してください (初期値:なし、米国東部 (バージニア北部)/ 米国西部 (オレゴン)/アジアパシフィック (東京)/ 欧州 (フランクフルト)/欧州 (アイルランド)より選択)



## スマカメ 設定

## 説明

スマカメUID	Amazon Kinesis Video Streamへ転送するスマカメのUIDを入力してください
スマカメパスワード	Amazon Kinesis Video Streamへ転送するスマカメのUIDに対応するパスワードを入力してください
ストリーム名	Amazon Kinesis Video Streamへ転送するVideo Stream名を入力してください

入力および選択後、適用ボタンをクリックすると設定が反映されます。スマカメ設定を入力した場合は設定済みスマカメにエントリが追加されます。リセットボタンをクリックすると現在の設定値が再度読み込まれます。

## 設定済みスマカメネットワーク

## 説明

No.	エントリーナンバーを表示します。 Amazon Kinesis Video Streamへ転送をする場合は有効を選択します(初期値:無効、有効/無効より選択)
スマカメUID	設定されたスマカメのUIDが表示されます
ストリーム名	設定されたスマカメのUIDに対応したVideo Stream名が表示されます
削除	削除する場合はチェックボックスを有効にします (初期値:未選択)

選択後、適用ボタンをクリックすると設定が反映されます。削除にチェックボックスが選択されたエントリは削除されます。リセットボタンをクリックすると現在の設定値が再度読み込まれます。

Kinesisビデオストリームページは以上です。

## 4. WAN

WAN回線に依り、インターネット接続設定を行うことができます。



WAN設定	説明
接続方式	接続方式を選択することができます (初期値:DHCP、固定IP/DHCPより選択)
<b>固定IP (接続方式にて固定IP選択時、表示)</b>	<b>説明</b>
IPアドレス	WANインターフェースに割り当てるIPv4アドレスを入力してください
サブネットマスク	WANインターフェースに接続するネットワークのサブネットマスクを入力してください
デフォルトゲートウェイ	WANインターフェースに接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを入力してください
プライマリDNSサーバ	本製品がDNSリレーもしくは本製品自身が名前解決する際に利用するプライマリDNSを入力してください
セカンダリDNSサーバ(オプション)	本製品がDNSリレーもしくは本製品自身が名前解決する際に利用するセカンダリDNSを入力してください (※省略可)
<b>DHCP(接続方式にてDHCP選択時、表示)</b>	<b>説明</b>
ホストネーム(オプション)	DHCPサーバに通知するホストネームを入力してください(※省略可)

入力後、適用ボタンをクリックすると設定が反映されます。  
キャンセルボタンをクリックすると現在の設定値が再度読み込まれます。

WANページは以上です。

## 5. システム管理

システム管理設定を変更することができます。

Web管理画面へのログイン情報等を変更することができます。

### システム管理

管理者アカウントとパスワード、NTP設定を変更できます。

管理者設定	
アカウント	admin
パスワード	*****
ウォッチドッグ	有効 <input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

NTP設定	
現在時刻	Wed Oct 10 20:37:48 GMT 2 <input type="button" value="ホストと同期"/>
タイムゾーン	(GMT+09:00) Japan, Korea <input type="button" value="▼"/>
NTPサーバー	ntp.nict.jp
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

### 管理者設定

### 説明

アカウント	Web管理画面へのログインに用いる変更後のアカウントIDを入力してください
パスワード	Web管理画面へのログインに用いる変更後のアカウントパスワードを入力してください
ウォッチドッグ	CPUが処理続行不能状態になった場合、自動的に再起動を行う場合は有効を選択してください (初期値:有効、有効/無効より選択)

選択後、適用ボタンをクリックすると設定が変更されます。

キャンセルボタンをクリックすると現在の設定値が再度読み込まれます。

### NTP設定

### 説明

現在時刻	本製品の内部時刻を表示します ホストと同期ボタンをクリックすると閲覧しているブラウザより時刻情報を秒数切り捨てにて本製品に適用します
タイムゾーン	本製品に適用するタイムゾーンを選択してください (初期値: (GMT+09:00)Japan,Korea タイムゾーン一覧より選択)
NTPサーバ	NTPによる時刻同期をする参照サーバを入力してください(初期値: ntp.nict.jp)

選択後、適用ボタンをクリックすると設定が変更されます。

キャンセルボタンをクリックすると現在の設定値が再度読み込まれます。

システム管理ページは以上です。

## 6. ファームウェア更新

ファームウェアの更新ができます。弊社Webページで本製品のアップデートが公開された場合、更新が可能です。

- ※ファームウェアアップデート中は電源を切らないでください。  
起動しなくなるまたは正常な動作をしなくなる恐れがあります。  
電源断などでファームウェア更新に失敗した場合は弊社サポートセンターでの修理が必要となります。

### ファームウェアアップデート

最新の機能をご利用いただくためにファームウェアのアップデートを行ってください。  
更新には1分ほどかかります。その間は電源を切ったりしないでください。正常な動作をしなくなる恐れがあります。

ファームウェアバージョン	
現在	v1.04

ローカルファームウェアアップデート	
ファームウェアファイルの場所	ファイルを選択 選択されていません

適用

ファームウェアバージョン	説明
現在	現在動作しているファームウェアのバージョンを表示します

ローカルファームウェアバージョン	説明
ファームウェアファイルの場所	ファイルの選択ボタンをクリックして適用するファームウェアを選択してください

選択後、適用ボタンをクリックするとファームウェアが選択したファイルで更新されます。

ファームウェア更新ページは以上です。

## 7. 設定管理

設定情報を管理できます。現在の設定値をバックアップ/復元したり、設定の初期化をすることができます。



設定のバックアップ	説明
バックアップ	クリックすると“VR500-AKI_(年月日時分秒).dat”というファイル名で現在の設定値が保存できます
設定の復元	説明
設定ファイルの場所	設定ファイルを選択し、復元ボタンをクリックすると設定ファイルによって現在の設定が上書きされます
初期化	説明
初期化	クリックするとファームウェア内のデフォルト設定値にて設定が書き戻され初期値に設定変更できます

設定管理ページは以上です。

再起動することができます。動作が不安定な場合や、期待した動作をしない場合に行うと改善する場合があります。

再起動

再起動

再起動	説明
再起動	クリックすると再起動します

設定管理ページは以上です。

## 8. ステータス

ステータスでは製品の各種情報が確認できます。

### ステータス

ステータスを確認します。

システム情報	
ファームウェアバージョン	v1.04 (Oct 10 2018)
システム稼働時間	20 mins, 10 secs
動作モード	Gateway Mode
インターネット設定	
接続タイプ	DHCP
WAN IPアドレス	10.10.10.145
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	10.10.10.254
プライマリDNS	10.10.10.254
セカンダリDNS	10.10.10.254
MACアドレス	00:22:CF:FB:8B:07
ローカルネットワーク	
ローカルIPアドレス	192.168.111.1
ローカルサブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	00:22:CF:FB:8B:06

### イーサネットポートステータス



WAN LAN1 LAN2 LAN3 LAN4

1000Mbps

100Mbps

10Mbps

### システム情報

### 説明

ファームウェアバージョン	現在動作しているファームウェアバージョンを表示します
システム稼働時間	システムが動作してからの稼働時間を表示します
動作モード	現在の動作モードを表示します

※本製品では“Gateway Mode”以外はございません

### インターネット設定

### 説明

接続タイプ	WAN接続タイプを表示します
WAN IPアドレス	WANインターフェースに割り当てられているIPv4アドレスを表示します
サブネットマスク	WANインターフェースに接続されているサブネットマスクを表示します
デフォルトゲートウェイ	WANインターフェースに接続されているデフォルトゲートウェイを表示します

プライマリDNS	本製品がDNSリレーもしくは本製品自身が名前解決する際に使用するプライマリDNSを表示します
セカンダリDNS	本製品がDNSリレーもしくは本製品自身が名前解決する際に使用するセカンダリDNSを表示します
MACアドレス	WANインターフェースに設定されているMACアドレスを表示します

ローカルネットワーク	説明
ローカル IP アドレス	LANにおける本製品のIPアドレスを表示します
ローカルサブネットマスク	LANのサブネットマスクを表示します
MACアドレス	LANに設定されているMACアドレスを表示します

イーサネットポートステータス	説明
WAN、LAN1-4	<p>ポートのリンク速度およびアップリンクについて表示します</p> <p>※概要</p> <p>白:未接続(リンクダウン)</p> <p>橙:1000Mbpsにてリンクアップ</p> <p>緑:100Mbpsにてリンクアップ</p> <p>黄:10Mbpsにてリンクアップ</p>

ステータスページは以上です。



## 9. 仕様

型番	VR500-AKI
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3ab(1000BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX) IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45ポート×5(WAN×1、LAN×4)
伝送速度	1000/100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	1000BASE-T:カテゴリ5e以上 100BASE-TX:カテゴリ5以上 10BASE-T:カテゴリ3以上
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	RESETボタン,POWERスイッチ
LED	[P]ower,[W]AN,LAN[1]-[4]
消費電力	最大約 4.5W
電源	DC12V 1A
外形寸法	約148(W)×29(H)×105(D)mm
重量	約483g (本体のみ)
動作時環境	温度:0~40℃ 湿度:10~90% (結露なきこと)
保存時環境	温度:-20~75℃ 湿度:10~90% (結露なきこと)
その他	
登録可能スマカメ	最大10台(有線LAN使用時)
対応OS	Windows(R) 10(32/64bit) / Windows(R) 8.1(32/64bit) / Windows(R) 8(32/64bit) / Windows(R) 7(32/64bit) macOS 10.12 / Mac OS X 10.11/10.10/10.9/10.8/10.7/10.6
各種設定方法	WEBブラウザ
保証期間	1年間
同梱物	VR500-AKI(本製品)、ACアダプタ、 印刷物一式(マニュアル、保証書等)

※録画ファイルに音声は含まれません。

※最大同時利用台数は有線LANにてカメラを接続した場合となります。無線LAN利用時には利用可能台数が少なくなる場合がございます。

※稼働中にスマカメアプリより同時に視聴すると映像が乱れる場合がございます。

## 10. 参考情報

Amazon Kinesis Video Streamの設定手順を説明いたします。  
 予め本製品と設定用PC、スマカメが用意されたうえで進めます。

※AWSサービスの仕様変更等によってサイトの各種画面は変更される場合があります。(掲載の画像は2018/10時点のものです)

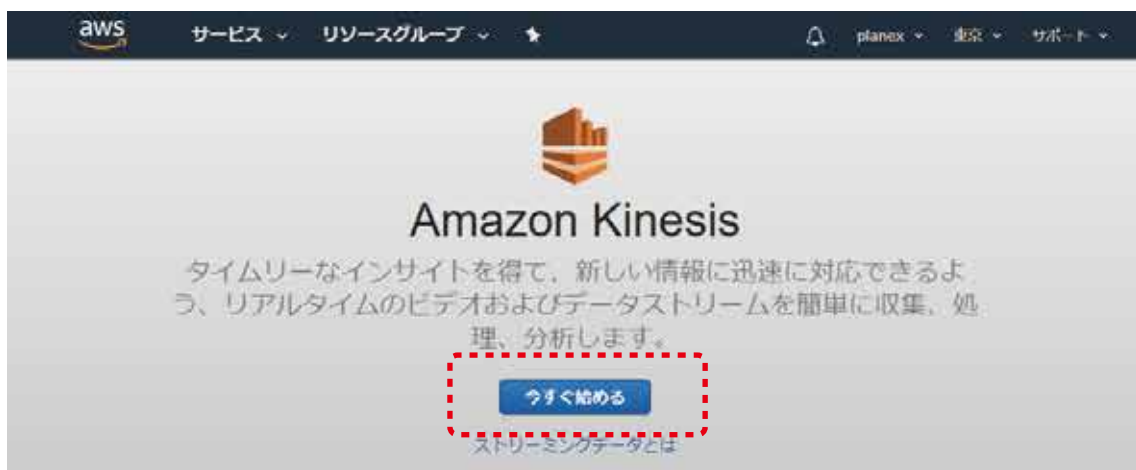
### 1 1-1 用意するもの

- スマカメ(UIDおよびパスワード)情報
- AWSアカウント

### 1 1-2 AWSアカウントでAmazon Kinesis Video Streamの利用を開始する

Amazon KinesisのURLにアクセスします。そして「今すぐ始める」をクリックします。

URL: <https://console.aws.amazon.com/kinesis/home>



### Amazon Kinesis で構築できるもの

#### バッチからリアルタイム分析に進化



従来はデータウェアハウスでのバッチ処理や Hadoop フレームワークを使用して分析されていたデータのリアルタイム分析を実行しませ

導入事例: [Zillow](#) [Hearst Corporation](#)  
 開発者ガイド:  
[Kinesis Data Firehose](#)  
[Kinesis Data Analytics](#)

## 1 1-3 VideoStreamを作成する

右下の「ビデオストリームを作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'Amazon Kinesis の使用を開始' (Getting Started with Amazon Kinesis) page. At the top, there is a navigation bar with the AWS logo, 'サービス' (Services), 'リソースグループ' (Resource Groups), and user information 'planex' and '東京' (Tokyo). Below the navigation bar, the main heading is 'Amazon Kinesis の使用を開始'. A sub-heading reads '開始するには、作成する Amazon Kinesis リソースを選択します。' (To get started, select the Amazon Kinesis resource you want to create.).

There are four main sections, each with a title, a description, a diagram, and a button:

- Top Left:** 'Kinesis ストリームを使用してストリーミングデータを取り込んで処理する' (Use Kinesis streams to ingest and process streaming data). Description: '独自のアプリケーション、または Amazon Kinesis Data Firehose、Amazon Kinesis Data Analytics、AWS Lambda などの AWS のマネージドサービスを使用してデータを処理します。' (Use your own application, or a managed AWS service such as Amazon Kinesis Data Firehose, Amazon Kinesis Data Analytics, or AWS Lambda, to process the data.). Diagram shows data ingestion into a stream and then to various processing services. Button: 'データストリームの作成' (Create Data Stream).
- Top Right:** 'Kinesis Firehose 配信ストリームを使用してストリーミングデータを配信する' (Use Kinesis Firehose delivery streams to deliver streaming data). Description: 'Amazon S3 や Amazon Redshift などの送信先にストリーミングデータを継続的に収集、変換、ロードします。' (Continuously collect, transform, and load streaming data to destinations such as Amazon S3 or Amazon Redshift.). Diagram shows data ingestion into a stream and then to S3/Redshift. Button: '配信ストリームの作成' (Create Delivery Stream).
- Bottom Left:** 'Kinesis 分析アプリケーションを使用してストリーミングデータを分析する' (Use Kinesis analysis applications to analyze streaming data). Description: 'Kinesis データストリームおよび Kinesis Firehose 配信ストリームからのストリーミングデータに対して継続的に SQL クエリを実行します。' (Continuously run SQL queries against streaming data from Kinesis data streams and Kinesis Firehose delivery streams.). Diagram shows data ingestion into a stream and then to an analysis application. Button: '分析アプリケーションの作成' (Create Analysis Application).
- Bottom Right:** 'Kinesis ビデオストリームを使用してメディアストリームを取り込んで処理する' (Use Kinesis video streams to ingest and process media streams). Description: 'ストリーミングメディアを処理または分析するアプリケーションを構築します。' (Build an application to process or analyze streaming media.). Diagram shows video ingestion into a stream and then to an analysis application. Button: 'ビデオストリームの作成' (Create Video Stream). This button is highlighted with a red dashed box.

At the bottom right of the main content area, there is a 'キャンセル' (Cancel) link. At the very bottom of the page, there is a footer with 'フィードバック' (Feedback), '日本語' (Japanese), '© 2008 - 2018, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.', 'プライバシーポリシー' (Privacy Policy), and '利用規約' (Terms of Use).

任意のストリーム名を入力し、「ストリームの作成」をクリックします。

The screenshot shows the AWS Kinesis console interface for creating a new video stream. The page title is '新しい Kinesis ビデオストリームの作成' (Create New Kinesis Video Stream). It features a diagram illustrating the data flow from a producer to a stream and then to consumers. The text explains the roles of the Kinesis Producer, Kinesis Video Stream, and Kinesis Consumer. At the bottom, there is a form with a text input field for 'Stream Name' containing 'StreamStream' and a blue button labeled 'ストリームの作成' (Create Stream). Both the input field and the button are highlighted with red dashed boxes.

**Amazon Kinesis**

サービス リソースグループ

Amazon Kinesis

ダッシュボード

Data Streams

Data Firehose

Data Analytics

**Video Streams**

プロデューサー SDK

最新通知

Kinesis ビデオストリーム > ストリーム > ストリームを作成する

### 新しい Kinesis ビデオストリームの作成

Kinesis Video Streams サービスのプライマリリソースはビデオストリームです。以下の図は、Kinesis ビデオストリームとこのプロデューサーおよびコンシューマーの関係を示しています。

**Kinesis プロデューサー**  
プロデューサーは、ビデオ、オーディオ、その他の媒体でエンコードされたデータフィードを生成し、それらを Kinesis ビデオストリームに送信するデバイスです。

**Kinesis ビデオストリーム**  
Kinesis ビデオストリームは、リアルタイムおよびバッチ集約のユースケースにおいて、時間エンコードされたデータフラグメントのキャプチャ、保存、インデックス作成を行います。

**Kinesis コンシューマー**  
コンシューマーは、Kinesis ビデオストリームからのフラグメントを継続して解凍、ビデオ分析、その他のワークフローを行うカスタムアプリケーションです。

また、コンシューマーは Kinesis ビデオストリームからのフラグメントをリクエストして表示します。

#### ストリーム設定

このストリームが作成された際は、Kinesis Video Streams API を使用してストリームにデータを配信したり、ストリームからデータを読み取りたりできます。デフォルト設定は、最初の手順に照準を合わせます。

ストリーム名

デフォルト設定の使用

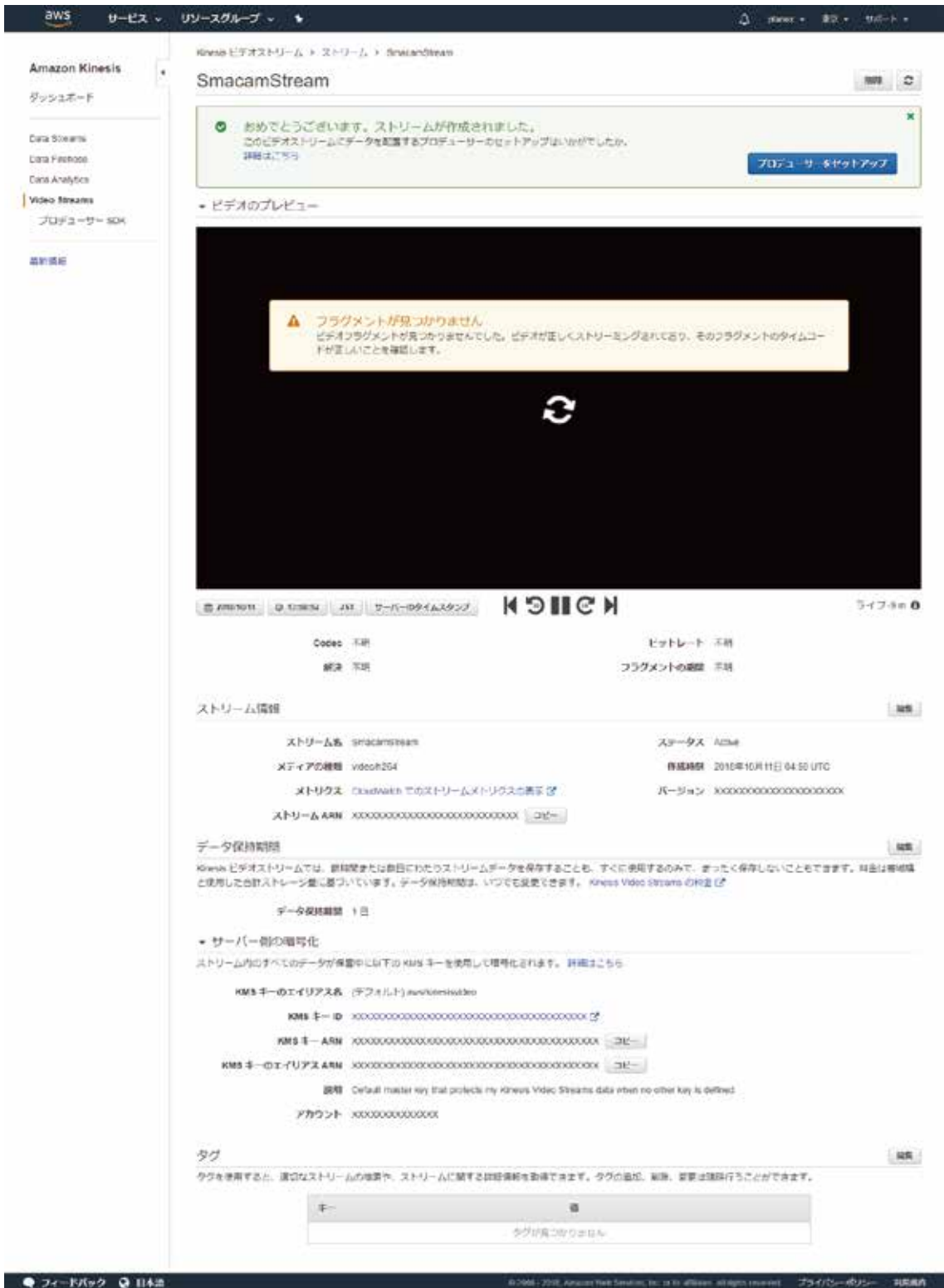
- メディアの種類は video/h264 です。ストリームに配信された H264 ビデオデータは、Kinesis Video Streams コンソールで再生できます。メディアの種類は、後で変更できます。
- データは 24 時間アーカイブされます。データ保持期間は後で変更できます。
- 追加されたタグはありません。タグは後で追加できます。
- データは、必要に応じてデフォルトの KMS キーを使用して暗号化されます。KMS キーを後で変更することはできません。独自の KMS キーを使用する場合は、デフォルト設定を覆用してください。

キャンセル **ストリームの作成**

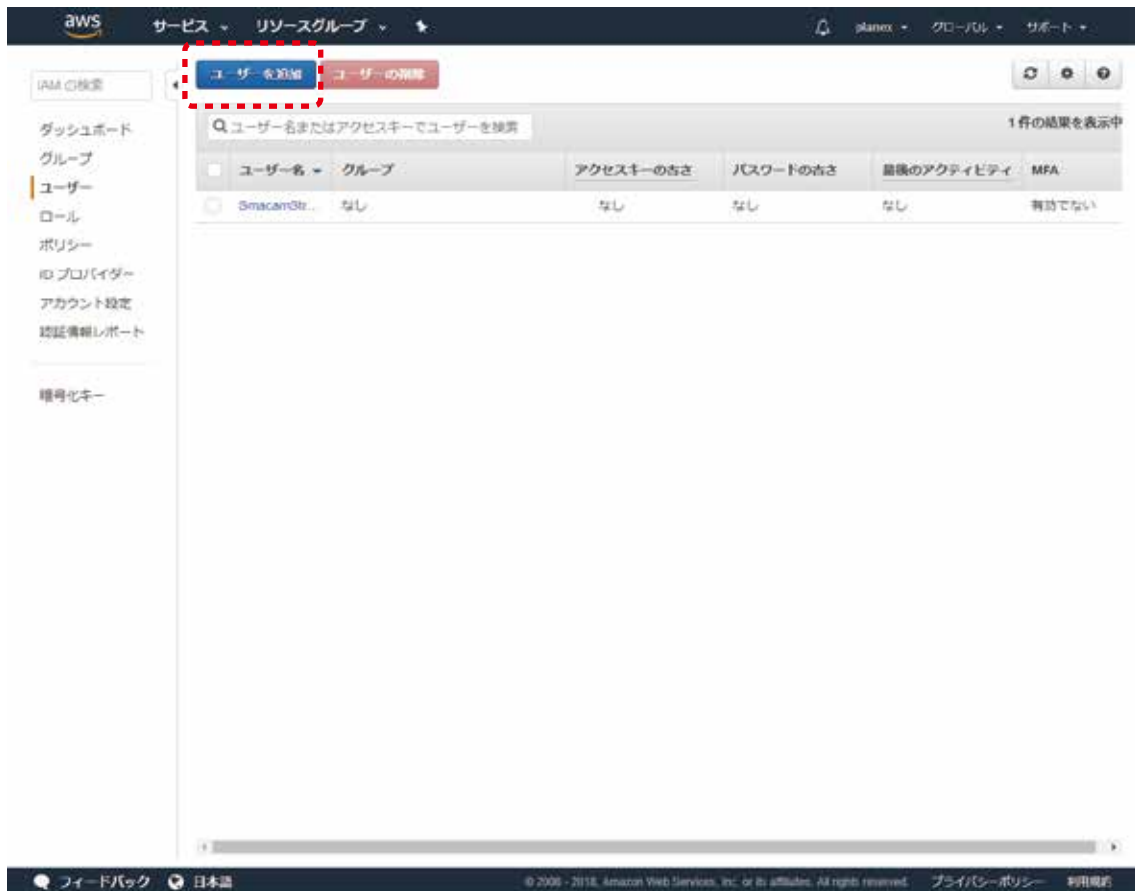
フィードバック 日本語

© 2018 - 2019, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. プライバシーポリシー 同意事項

ストリームが作成され確認画面が表示されます。  
作成したストリーム名およびリージョンをメモに控えます。



- 1 1 -4 VideoStreamにアクセスできる認証情報をIAMロールにて作成する Amazon Web ServiceのIAMユーザーのURLにアクセスします。  
URL: <https://console.aws.amazon.com/iam/home?/users>



任意のユーザー名を入力し、「プログラムによるアクセス」のチェックボックスを有効にした状態で、「次のステップ:アクセス権限」をクリックします。

The screenshot shows the AWS IAM console interface for adding a user. The page title is 'ユーザーを追加' (Add user). Below the title, there are four numbered steps: 1 (selected), 2, 3, and 4. The current step is 'ユーザー詳細の設定' (Configure user details). A sub-header reads '同じアクセスの種類とアクセス権限を使用して複数のユーザーを一度に追加できます。詳細はこちら' (You can add multiple users at once using the same access type and permissions. See details here). The 'ユーザー名' (User name) field contains 'SmacamStream' and is highlighted with a red dashed box. Below the field is a '+ 名前を生成' (Generate name) button. The 'AWS アクセスの種類を選択' (Select AWS access type) section has two options: 'プログラムによるアクセス' (Programmatic access) which is selected with a radio button, and 'AWS マネジメントコンソールへのアクセス' (Access to the AWS Management Console). The 'プログラムによるアクセス' option includes the text: 'AWS API、CLI、SDK などの開発ツールの アクセスキー ID とシークレットアクセスキー を有効にします。' (Enables access key ID and secret access key for development tools like AWS API, CLI, SDK). The 'AWS マネジメントコンソールへのアクセス' option includes: 'ユーザーに AWS マネジメントコンソールへのサインインを許可するためのパスワード を有効にします。' (Enables password for sign-in to the AWS Management Console). At the bottom right, there are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '次のステップ: アクセス権限' (Next step: permissions), and '完了' (Done). The '次のステップ: アクセス権限' button is highlighted with a red dashed box. The footer contains '© 2008 - 2018, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. プログラムによるアクセス' and '利用規約' (Terms of Use).

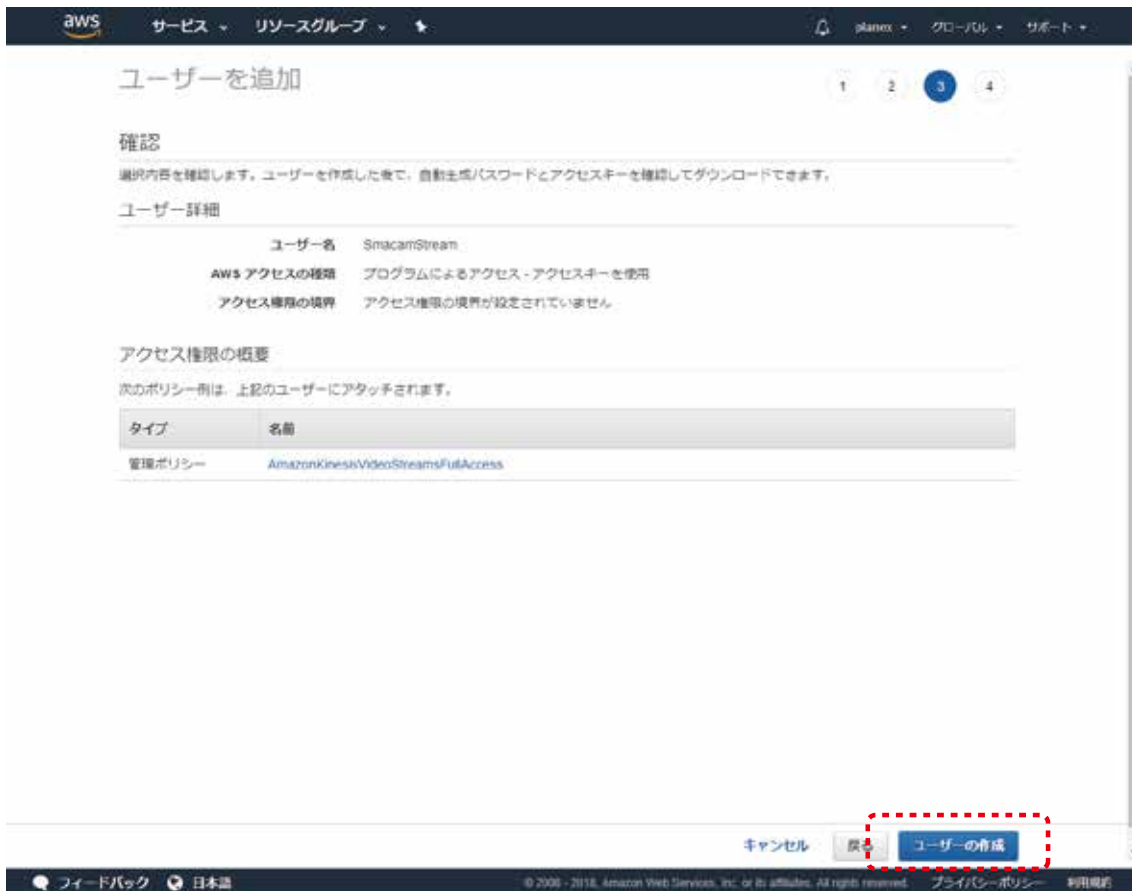
「既存のポリシーを直接アタッチ」を選択し、「ポリシーのフィルタ」横の検索欄に「AmazonKinesisVideoStreamsFullAccess」を入力し、表示されたポリシー左横のチェックボックスを有効化した状態で、「次のステップ:確認」をクリックします。

The screenshot shows the AWS IAM console interface for adding a user. The current step is 'Attach Existing Policies Directly'. The 'Policy Filter' search bar contains the text 'AmazonKinesisVideoStreamsFullAccess'. Below the search bar, a table lists the search results. The first result, 'AmazonKinesisVideoStreamsFullAccess', is checked. The 'Next Step: Confirm' button is highlighted with a red dashed box.

ポリシー名	タイプ	次として使用	説明
<input checked="" type="checkbox"/> AmazonKinesisVideoStreamsFullAccess	AWS による管理	なし	Provides full access to Amazon Kinesis Video Streams



ユーザー作成の確認画面が表示されます。  
問題がなければ、「ユーザーの作成」をクリックします。



The screenshot displays the AWS IAM console interface for adding a user. The page title is "ユーザーを追加" (Add User). The current step is "確認" (Confirm), which is highlighted in a blue circle in a progress indicator at the top right. The confirmation text states: "選択内容を確認します。ユーザーを作成した後で、自動生成パスワードとアクセスキーを確認してダウンロードできます。" (Check the selected content. After creating the user, you can check and download the automatically generated password and access keys.)

The "ユーザー詳細" (User Details) section shows the following information:

ユーザー名	SmacamStream
AWS アクセスの種類	プログラムによるアクセス - アクセスキーを使用
アクセス権限の境界	アクセス権限の境界が設定されていません

The "アクセス権限の概要" (Access Policy Summary) section indicates that the following policy will be attached to the user:

タイプ	名前
管理ポリシー	AmazonKinesisVideoStreamsFullAccess

At the bottom right, there are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "戻る" (Back), and "ユーザーの作成" (Create User). The "ユーザーの作成" button is highlighted with a red dashed box.



## 1 1-5 本製品に設定情報を入力する

本製品のKinesisビデオストリーム(→P.6,7)設定画面を表示させます

**Kinesis ビデオストリーム**

<b>Kinesis ビデオストリーム設定</b>	
Kinesis ビデオストリーム	無効 <input type="checkbox"/>
アクセスキーID	<input type="text"/>
シークレットキー	*****
リージョン	<input type="text"/>

**スマカメ設定**

スマカメ UID	<input type="text"/>
スマカメ パスワード	<input type="text"/>
ストリーム名	<input type="text"/>

(最大スマカメ登録数:10)

設定済みスマカメ			
No.	スマカメ UID	ストリーム名	削除

設定項目を上から順に以下のように設定いたします。

設定のKinesisビデオストリーム設定	入力・選択値
----------------------	--------

Kinesisビデオストリーム	有効
アクセスキーID	11-4にて作成したユーザーのアクセスキーID
シークレットキー	1-4にて作成したユーザーのシークレット アクセスキー
リージョン	11-3にて作成したビデオストリームのリージョン

スマカメ設定 入力・選択値	入力・選択値
---------------	--------

スマカメUID	スマカメのUID
スマカメパスワード	スマカメのパスワード
ストリーム名	11-3にて作成したビデオストリーム名

入力・選択後、適用をクリックします。

設定済みスマカメに現在追加したスマカメのエントリが追加されますので、No.欄の無効を有効に変更し、エントリリスト下の適用ボタンをクリックします。

The screenshot displays the management interface for a VR500-AKI device. The left sidebar shows navigation options: Kinesis ビデオストリーム, WAN, システム管理, ファームウェア更新, 設定管理, 再起動, and ステータス. The main content area is divided into three sections:

- Kinesis ビデオストリーム設定**: Fields for Kinesis ビデオストリーム (有効), アクセスキー ID (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX), シークレットキー (\*\*\*\*\*), and リージョン (欧州 (アイルランド)).
- スマカメ設定**: Input fields for スマカメ UID, スマカメ パスワード, and ストリーム名.
- 設定済みスマカメ**: A table listing configured cameras. The first entry is highlighted with a red dashed box, showing No. 1, 有効, UID XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX, and stream name testStream. A red dashed box also highlights the 適用 (Apply) button below the table.

No.	有効	スマカメ UID	ストリーム名	削除
1	有効	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	testStream	<input type="checkbox"/>

## 11-6 VideoStream上で映像を確認する

11-3にて表示されている確認画面に現在のスマカメ映像が転送され、表示されます。



手順は以上です。

※ Apple、Apple のロゴ、Mac OS は、米国及び他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。※ Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8、Windows 10又はその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。※ Amazon Web Services、“Powered by Amazon Web Services” ロゴ、および当ウェブサイトで使用されるその他のAWS商標は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。※その他会社名、各製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。